

より良い景観検討のためのカルテ（チェックシート）

記入年月日 : 令和 4 年 5 月 31 日

チェック担当課: 施設マネジメント課

事業の概要	
事業名	川西市立総合医療センター整備事業
事業個所・対象地	川西市火打1丁目地内
事業期間	令和元年8月 ~ 令和4年5月
事業の対象となる 公共施設等	<input type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 橋梁 <input type="checkbox"/> 河川・水路 <input type="checkbox"/> 公園・緑地 <input checked="" type="checkbox"/> 公共建築物等
事業に含まれる要素 (個別指針より)	<input type="checkbox"/> 法面・斜面 <input type="checkbox"/> 擁壁 <input type="checkbox"/> 護岸 <input type="checkbox"/> 舗装 <input type="checkbox"/> 付属施設(防護柵、公共サイン) <input checked="" type="checkbox"/> 建築物
構想・計画段階(各事業共通)	
項目1	景観形成の指針を把握する。
項目2	共通指針(全体指針A-1~A-5、B-1~B-5)の内、本事業で特に配慮する指針と具体的に配慮する事項を記入する。
(例) B-3	(例) 当該地の景観特性を入念に調査し、計画に反映させる。
A-5	事業の入札公告段階で公表する要求水準書において、遵守すべき法令等に、川西市景観条例を記載するほか、景観及び周辺環境に配慮する旨記載することにより、構想段階で指針を計画に反映させる。

設計・施工段階 / 公共建築物等		
基本指針、共通指針、景観類型別指針を踏まえた「より良い景観検討のための景観配慮事項」への対応と、具体的に配慮・検討した内容を記入する。		
✓	より良い景観検討のための配慮事項	配慮・検討した内容
☑	周辺景観との調和に最大限配慮し、高さの抑制等により周囲に威圧感を与えない計画を探る。	川西の山並みと調和する高さ（約43m）としつつ、高層になるにつれて建物ヴォリュームをセットバックさせることで、周辺景観との調和に配慮する。
☑	形態・意匠・色彩（デザイン）は、屋上や壁面等の積極的な緑化により、市街地の中において緑豊かで潤いのある景観形成に配慮した計画を探る。 【具体的配慮事項】 ・建築物の外観の色彩は、周辺の緑などの自然物の色彩や周辺のまち並みの色彩に配慮し、周囲から突出しない色彩にする。 ・建築物の外観のにぎわい演出方法として、通りに面した低層部にアクセントカラーを用いた外観意匠やフラッグやテント材等による意匠も効果的である。 ・彩度の基準（景観形成基準） R,YR系6以下、Y系4以下、その他2以下	<ul style="list-style-type: none"> ・外観の色彩は、建物全体を白とグレーを基調とした、周囲と統一感のある色調で計画する。 ・低層部のピロティや屋上庭園の軒天井は木目調の仕上とし、賑わいを演出する。 ・彩度は、景観形成基準を遵守した計画とする。
☑	植栽は、敷地内・外からの見え方を意識した樹種の選定・配植を検討する。 【具体的配慮事項】 規模に応じて、県条例・開発指導要綱の緑地面積を確保	・外構や屋上庭園、2&3階のバルコニーに屋上緑化を施し、公園からの緑の連続性を特徴とした意匠とする。
☑	柵・フェンス等は、閉鎖的にならない意匠・色彩を検討する。	・公園との一体感や公共施設の開放性に配慮し、フェンスは北西の隣地境界付近等、最低限の計画とする。
☑	施設名表示や案内板等のデザイン統一化を検討するとともに、シンプルで控えめなデザインを検討する。	・屋上の外壁サインや外構部の施設名サインは、彩度の低いシンプルな計画とする。

維持・管理段階（各事業共通）		
項目 1	景観形成の指針を把握する。	
項目 2	共通指針（全体指針 A-1～A-5、C-1～C-4）の内、本事業で特に配慮する指針と具体的に配慮した（する）内容を記入する。	
	C-3	当初デザインの意図を踏まえた材料を用いて補修を行う。
	C-2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保全説明書や長期修繕計画を作成し、担当者の変更等があった場合でも、継続的・計画的に維持・管理が行われるようにした。 ・ 良好な衛生環境、美観の維持を心掛け、公共施設としての快適な空間を保つために必要な清掃業務を実施することについて指定管理者と協定を緊結した。

完成後

